

# 中学校第2学年

# 国語

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから10ページまであります。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 解答は、指示された解答欄に記入してください。解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 5 印刷がはっきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 6 解答時間は45分間です。
- 7 解答用紙には、「組」、「番号」、「氏名」を書く所と「学校名」、「組」、「番号」を書く所があります。まちがいのないように書いてください。
- 8 解答用紙には、「先生の記入欄」があります。そこには何も記入しないでください。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(1から17は、段落の番号を表します。)

1 だれだって「橋」といえば、大水が来ても流されない頑丈な橋がいいと考えます。それなのに、京都にある上津屋橋という橋は、大水が来て川の水がいっぱいになると、必ず流されてしまいます。もちろん、流されるたびに修理をするのですが、それでも大水が来れば、また流されるのです。ですから付近の人々は、この橋のことを「流れ橋」と呼んでいます。

2 ところで、この「流れ橋」は、どうして流されないような頑丈な造りにしないのでしょうか。

3 「流れ橋」は、京都の南を流れる木津川に架けられた、長さ三五メートルという、とても長い木造の橋です。木津川の源は、奈良県と三重県に広がる奥深い山岳地帯です。ですから、大雨が降ればたくさんのお水を集め、ふだんは静かに流れている木津川もたちまち「暴れ川」となります。

4 「流れ橋」のある所は、地名を上津屋といい、ちょうど木津川を境にして、東側が久御山町、西側が八幡市です。八幡市には、一一〇年ぐらい前に建てられた有名な岩清水八幡宮があります。東の方から参拝に来る人は、どうしても木津川を渡らなくてはなりません。この場所に「流れ橋」が架けられたのは、昭和二十六年(一九五一年)だといいます。それまでは、舟で渡っていたということでした。

5 木津川のこの付近は人家も少なく、広い川原にはアシなどが茂り、昔ながらの光景が残っている所です。そんな光景の中に「流れ橋」が一つ、何十もの太い木の橋脚に支えられ、まっすぐ木津川を横切っています。

6 現在の橋は、普通、鋼鉄や鉄筋コンクリートで造られています。が、「流れ橋」は路面に敷き詰められている橋板も、それを支えている橋げたや橋脚も、皆、木で造られています。ただ、東側の十七本の橋脚だけは、川の本流の中にあるため、鉄筋コンクリート製になっています。

7 「流れ橋」の橋板は、橋げたの上に打ち付けてありますが、おもしろいことに、その両側には鉄の環が打ちこんであって、それに太い鉄のロープが通してあります。その鉄のロープは、たどっていくと途中で橋の裏側に回り、橋脚に固く巻きつけてあります。

8 橋の下から見ると、太い橋げたは橋脚の上に載せてあるだけです。普通の木造の橋の場合、橋げたと橋脚とは、かすがいやほぞなどで、互いに離れないように固く留めてしまいます。ところが、「流れ橋」の場合は、橋げたはその重みで載せてあるだけですから、川の水が増えてきて橋げたのところまできたら、木の橋げたは水にぼっかり浮いて、流されてしまいます。

9 そのまま流されてしまったら大変です。そこで、鉄のロープの一部は橋脚にがっしりと巻きつけてあるわけです。もちろん、三五メートルもの長い橋の、橋板と橋げたの全体を一本の鉄のロープでつなぎ留めておくのは無理なことですから、四十メートルから五十メートルでくぎり、八つに分けてあります。

10 大水で水かさが橋げたまで届くようになると、つながれた橋板と橋げたが、流れに沿って川の中に八つ、縦に並んで浮くことになり、水が引いて川がもとの静かな姿にもどったら、それを引っ張り上げ、壊れた部分は修理して、もとのように橋脚の上に載せればいいわけです。

11 「流れ橋」を管理している京都府の田辺土木事務所(たなべ)の記録によりますと、昭和二十六年に「流れ橋」が造られて以来、台風や集中豪雨で、すでに十回も流されています。

12 台風で恐ろしいのは、強い風はもちろんですが、狭い地域に、短時間でたくさんのお雨が降ることです。梅雨の時の集中豪雨もそうです。こうした大雨で川の水が急に増えれば、洪水が起こります。洪水にならないようにするには、増えた水の分だけ、どんどん海に流れてくれればいいわけです。

13 このことだけを考えてみれば、川の流れる幅が十分に広く、そして流れの途中にじやまするものがなければ、水はよく流れ、堤防から水があふれ出すこともなくなります。しかし、私たち人間は、生活の必要から活動する範囲を広げ、便利にするために、川には橋を架けました。幅の広い川では、つり橋は別ですが、途中に幾つもの橋脚を立てなくては、橋げたを渡すことはできません。

14 「流れ橋」は三五メートルもの長い木の橋ですから、橋脚は七十三基あります。橋脚と橋脚の間は五メートルぐらいです。もし、橋げたが流されないとしたら、川の中に幅約五メートルの「門」が七十四個、横一列に並んでいるのと同じことになり、これは、水の流れをじやまする大きな障害物となります。じやまする度合いは、水の流れが速くなるほど大きくなります。まして大水のときは、上流から大きな石ころや樹木など、いろいろなものがたくさん流れてきます。それらが、「流れ橋」の、橋げたと橋脚とでできる「門」に引っかかれば、流れ口をふさいでしまい、ちょうどそこがせきになってしまいます。そうなる大変です。水かさは急に増加し、堤防を越えてあふれ出すことになり、

15 そこで、いざというときに川の流れをじやましなようにするため、橋げたが橋脚からはずれるような構造の橋にしたのです。昭和二十六年ごろは、戦争が終わってまだまもないころでしたから、木材を手に入れることが困難な時代でした。橋板と橋げたを鉄のロープで橋脚につないでおけば、流されてなくなってしまうことはありません。「流れ橋」は、木材を節約するうえからも工夫された橋でした。

17 「流れ橋」は、今の鋼鉄や鉄筋コンクリートの橋とは違って、自然の猛威に立ち向かってこらえるのではなく、流されながら、自然の猛威が収まるまで我慢している橋なのです。この「流れ橋」の姿には、私たち人間が自然とどのようにつき合ったらいいか、一つの考え方が示されているのではないのでしょうか。

(大竹三郎「流れ橋」による)

(注1) かすがい|| 材木などをつなぎ留めるための、コの字型の金物。

(注2) ほぞ|| 材木を接合するとき、片方の材の端に作る突起のこと。

- 一 線部「大水が来ても流されない頑丈な橋」とは具体的にどんな橋を指しますか。文章中から十三字で抜き出しなさい。
- 二 1 段落につける見出しとして、もつとも適切なものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。
  - 1 「流れ橋」の被害
  - 2 「流れ橋」の言われ
  - 3 「上津屋橋」の利点
  - 4 「上津屋橋」の危険性

三 線部「流れ橋」とはどんな橋のことですか。「流れ橋」の説明として当てはまらないものを、次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 路面に敷きつめられている橋板、それを支えている橋げたや橋脚などは、ほぼ木で造られている。
- 2 京都の南を流れる木津川に架けられた、長さ三五メートルの、とても長い木造の橋である。
- 3 長い橋の橋板と橋げたを一本のロープでつなぎ留め、橋脚に巻きつけて流されないようにしている。
- 4 集中豪雨による洪水をさけるためにも、木材を節約する上でも、流される構造になっている。

四 線部「流されながら、自然の猛威が収まるまで我慢している」の部分に使われている表現技法を答えなさい（漢字、ひらがなのどちらでもよい）。

五 この文章を読んで、あなたが感じたことや考えたことを、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 本文を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ（「」）でくくること。
- 条件2 この文章についてあなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。
- 条件3 八十字以上、百字以内で書くこと。

2 夏木さんは、こだま幼稚園で職場体験を行いました。Aは「お礼の手紙」、Bは「職場体験をまとめたもの」です。これを読んであとの問いに答えなさい。

A

拝啓

あじさいの花が美しく咲く季節となりました。園長先生をはじめ、こだま幼稚園のみなさま、いかがお過ごしですか。私は、元気に学習や部活動に励みます。

さて、先日の職場体験学習では、大変お世話になりました。笑顔のかわいい園児たちと共に、とても充実した三日間を過ごすことができました。朝のお迎えやお遊び、食事や帰りのお見送りの世話、お誕生日会の準備など、様々な仕事を体験させていただきました。中でも絵本の読み聞かせは、とても印象に残っていました。また、先生方が明るく優しく園児に接する姿や、幼稚園の先生としての誇りと使命感をもって一生懸命に仕事をされる姿を見て、多くのことを学びました。この経験を生かして、私もこれから、何事にも積極的に取り組み、精いっぱい努力していこうと思います。

最後になりましたが、みなさまのご健康をお祈りします。

敬具

ウ

ア

イ

B



合い言葉は「ニコニコえがお」～こだま幼稚園～

2年3組 夏木 友香

こだま幼稚園の一日

- 8:00 朝のお迎え
- 8:30 朝の体操
- 9:00 今日のお遊び
- 11:30 食事
- 12:30 帰りのお見送り

エ

読み聞かせに挑戦！！

2日目は、すみれ組の園児たちに、絵本の読み聞かせを行った。選んだ本はエリック・カールの「はらぺこあおむし」。初めは緊張して声がふるえた。しかし、食い入るように絵本を見つめる園児を前に、いつしか夢中になって読み進めていた。読み終わった後、園児たちが笑顔を見せてくれたときは、とてもうれしかった。

読み聞かせの写真

一 夏木さんは、手紙の中に、文末表現として適切でない文を二つ見つけました。一つは次に示したものです。もう一つを一文で探し、例にならって正しく書き直さない。

例…私は、元気に学習や部活動に励みます。↓ 励んでいます。

二 **A** 「お礼の手紙」の後付け **ア** **ウ** にあてはまる内容を、次の1から3の中から選び、それぞれ記号で書きなさい。

- 1 こだま幼稚園 園長 柴田 康彦 様
- 2 〇〇市立桜台中学校 二年三組 夏木 友香
- 3 平成二十六年六月二十日

三 夏木さんは、**B** 「職場体験をまとめたもの」のエに書く記事を、**A** 「お礼の手紙」に書いたことから書こうと考えました。エに書く記事<sub>1</sub>を解答欄に合うように書きなさい（ただし、**B**の他の記事と重ならないようにすること）。

四 夏木さんは職場体験を通して、幼稚園の先生への興味が高まり、さらに調べることにしました。次の**ア**、**イ**について、それぞれの指示にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

**ア** あなたが夏木さんだったら、何を調べてみたいですか。一つ書きなさい。

**イ** **A**を調べる手段を、次の①から③までの中から一つ選び（どの〈調べる手段〉を選んでもかまいません）、その手段を用いて〈どのようにして情報を集めるのか〉を二十字以上、五十字以内で書きなさい。

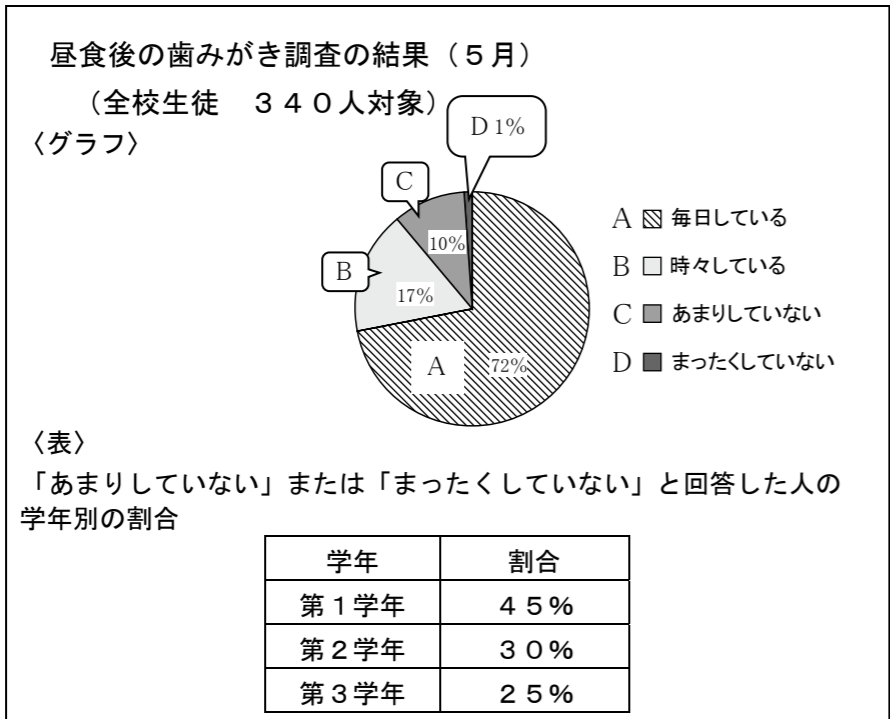
なお、「③その他」を選んだ場合は、あなたの考える調べる手段を解答用紙の（ ）に書きなさい。

〈調べる手段〉

- ① 学校図書館
- ② インターネット
- ③ その他

3 本山さんと川原さんは、保健委員として、昼食後の歯みがき調査の結果について、資料を示しながら全校生徒の前で話をするようになります。次は、その【資料】と本山さんと川原さんの【原稿】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料】



【原稿】

【本山さん】  
まずグラフを見てください。昼食後に毎日歯みがきをしている人は七十二%であり、最も多いことが分かります。時々みがいている人と合わせると八十九%になります。これは、みなさんが各クラスの保健委員の呼びかけにこたえてくださったからだと感謝しています。これからも、きちんと歯みがきを続けてください。

【川原さん】  
こんにちは、私は三年二組の川原です。これから、保健委員が五月に取り組んだ昼食後の歯みがき調査の結果についてお知らせします。〈ア〉グラフを見ると、毎日している人や時々している人の割合が大きく、意識が高まってきていると思います。〈イ〉しかし、まだ十一%の人がすすんで歯みがきをしていないという現状があります。〈ウ〉特に表を見ると、一年生の割合が大きいのに驚いています。来月は虫歯予防デーがあります。来月こそ、昼食後の歯みがき一〇〇%を目指しましょう。〈エ〉最後に連絡です。本日、放課後に会議室で保健委員会を開きます。これでお知らせを終わります。

一 本山さんの【原稿】の——線部「時々がいている人と合わせると八十九%になります。」と説明するとき、グラフのAからDまでのどこを指したらよいですか。1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 Aを指す。
- 2 Bを指す。
- 3 AとBを指す。
- 4 AとBとCを指す。

二 本山さんと川原さんの【原稿】を比較すると、二人の原稿にはそれぞれ特徴があることが分かります。川原さんの原稿にはどのような特徴がありますか。次の1から4までのうち、川原さんの原稿の特徴に当てはまらないものを一つ選びなさい。

- 1 川原さんは、聞き手がわかりやすいように、最初に話す内容を示している。
- 2 川原さんは、グラフや表を用いて、聞き手の理解を深めようとしている。
- 3 川原さんは、聞き手が取り組みやすいように、来月の目標について触れている。
- 4 川原さんは、感謝の言葉を入れて、聞き手の意識を高めようとしている。

三 川原さんは、話題が変わるところで、大きく間を取って話そうと考えました。川原さんの【原稿】の〈ア〉から〈エ〉までのどこで間を取ったらよいですか。最も適切なものを一つ選びなさい。

4 次は、御伽草紙『うらしま太郎』の【冒頭の部分】とその【現代語訳】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【冒頭の部分】

昔、丹後国に浦島といふ者はべりしに、その子に浦島太郎と申して、年の齡二十四、五の男ありけり。明け暮れ、海のうろくづを取りて、父母を養ひけるが、ある日のつれづれに、釣りをせんとて出でにけり。浦々島々、入江入江、至らぬ所もなく、釣りをし、貝を拾ひ、みるめを刈りなどしけるところに、ゑしまが磯といふ所にて、亀を一つ釣り上げる。

【現代語訳】

昔、丹後の国（今の京都府北部）に浦島という者がおったが、その子に浦島太郎といって、年のころ二十四、五歳の男がいた。明けても暮れても海の魚をとって父母を養っていたが、ある日、することもなくて、釣りをしようと出かけていった。あちこちの浦や島、入江と、行かないところもなく、釣りをし、貝を拾い、海藻を刈ったりしていたところ、えしまが磯というところで、亀を一匹釣り上げた。

- 一 ——線部「養ひける」を現代仮名づかに直し、すべてひらがなで書きなさい。
- 二 ——線部「つれづれに」の意味を【現代語訳】の中から抜き出さない。

5 次の一から六までの各問いに答えなさい。

一 次の1から3までの文中の――線部のカタカナを漢字(送りながも含む)に、もしくは漢字をひらがなに直し、楷書(かいしよ)で、  
ていねいに書きなさい。

1 わたしの町がハッテンする。 2 アタタカイお湯で顔を洗う。 3 奮ってご参加ください。

二 次のアからウの文では、( )の中の1から4のうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 提出する文章に間違いはないか、目を(1 石 2 鏡 3 皿 4 水)のようにして何度も確かめた。

イ 彼の主張は終始(1 一貫 2 一致 3 一徹 4 一変)している。

ウ 先生、よかったら先に夕食を(1 食べて 2 召し上がって 3 お召しになって 4 いただいて)ください。

三 漢和辞典で「遊」という漢字を部首索引で引くとき、次のA、Bに適切な漢数字を書き入れなさい。

部首索引の A 画目にある「遊」を探し、さらに「遊」の部の B 画目で引く。

四 次のアの文の意味と同じ意味になるように、イのA、Bに適切な言葉を書き入れなさい。

ア 学習委員会が点検活動を続けたので、生徒の忘れ物が減少した。

イ A 継続的な点検活動が、生徒の忘れ物を減少 B 。

五 次の文を読んで、――線部「ぎらぎら」とと修飾・被修飾の関係にあるものを、波線部1から4までの中から一つ選びなさい。

夏のさわやかな朝の空気が、ひんやりとこの高原一帯を包んでいる。思い切り背伸びをして深呼吸をしてみる。  
何とすがすがしいのだろう。1 これから、ぎらぎらと 2 容赦なく、すべてに 3 照りつける 4 太陽の ことを  
考えると、少しうんざりもするが、今はこの心地よいひとときを大事にしたいと思う。

六 第三中学校の新聞委員の内山さんは、学校の合唱部が活躍していることを学校新聞に書くことにしました。【学校新聞の記事の一部】

の  の中に、【取材した内容の一部】の①から④までを一文にまとめて書きます。書き出しの言葉に続く内容を、二十字以上、三  
十字以内で書きましょう。

(書き出しの言葉は、字数には含みません。)

【取材した内容の一部】

【学校新聞の記事の一部】

① 合唱コンクールの県大会が、七月一日  
に開かれた。

② そのコンクールに、第三中の合唱部が  
出場した。

③ 第三中の合唱部は、そのコンクールで  
金賞に選ばれた。

④ 第三中の合唱部は、来月開かれる全国  
大会に出場することになった。

～(メモが続く)～

第三中☆学校新聞 平成26年7月号

第三中の歌声 全国へ

県大会で金賞

七月一日、合唱コンクールの  
県大会に出場した本校合唱部が、

～(記事が続く)～

